

和光市民に対する配慮（課題1）

市外からの申込者数等

	申込者数	うち転入 予定	承諾者数	うち転入 予定
H29.4	45名	30名	29名	25名
H30.4	59名	35名	25名	18名

市外からの申込者数が増加している

和光市民に対する配慮（課題2）

（1）0歳児の市外からの申込者数等

	申込者数	うち転入 予定	承諾者数	うち転入 予定
H29.4	11名	6名	7名	5名
H30.4	10名	4名	7名	3名

（2）和光市の0歳児の枠が市外の方の入所により埋まることになる
→4月入所においては、0歳児に空きが生じているため、希望すれば
入所がしやすい状況がある

和光市民に対する配慮(課題3)

申請取下げ・辞退者(平成30年4月)

取下げ者 31名 入所辞退者 10名

「転入予定で申込したが和光市への転入がなくなった」「他の自治体へ入所が決まった」等理由による申請取下げ・辞退

- 行政コストがかかる

自治体間の協議が増加(事務処理増加)

- 市民コストがかかる

入所できなかった市民の行動に影響が出る(認可外保育施設を探さなければならない・育児休業の延長手続きを行わなければならない)

保育の必要性の基準の調整 見直し(案)

入園希望月の1日までに転入予定の方で、転入先住所等が確認できる書類がない場合

指数 -10点